



第 59 号

千 町 田



◎ 代表理事 山本 耕一

組合員の皆様方におかれましてはつつがなく新年を迎えられたものとお慶びを申し上げます。

平成25年にのきの郷として営農組合から法人へ移行して早いもので10年が経ちました。この間に農業経営の多角化を推し進め、トマト、キャベツ、イチゴ、ブドウ栽培に取組む一方で、水稻のコスト削減を目的として育苗施設と乾燥調製施設を導入し、種もみの播種から玄米出荷まで出来るよう施設の拡充を図り、内製化に取組んできました。その結果、県内外から先進地事例として高く評価され、視察団体が多く来訪されるようになりました。

コロナ感染が全国規模で蔓延すると、外食産業の自粛などがあり

コメの消費量は大きく減り在庫量が増えたことにより米価安を招きまた世界情勢の悪化などによる影響で資材関係の高騰など、農業を取巻く環境は最悪の状態となっています。そんな中で、のきの郷の令和4年決算では経常利益を黒字計上することが出来ました。

私達のきの郷は、この美しい田んぼを舞台にして農業に取り組んでいます。「安心・安全」な農産物作りを基本とし地域の方々の多様な技術・能力を最大限に活かした雇用の場の創出と価値ある農業をめざしてまいりますので、今後ともご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

◎ 専務理事 河津 一行

組合員の皆様、明けましておめでとございます。しかしながら、今年も相変わらずのコロナ禍とウクライナ侵攻が収まることなく迎えてしまいました。

農業もまだまだ厳しい状況が続くと思われる中、のきの郷は設立して丸10年を迎えます。これまでの10年間で当法人は大きく成長し



てきました。これもまた組合員の皆様のご理解とご協力により支えてきていただけたからだ、設立当初から理事を拝命してきた私は改めて思うところです。心より御礼申し上げます。

さて、そろそろ経営の主体を次世代に引き継ぐべく準備を進めなければならぬと考えています。これからののきの郷は、厳しい農業情勢のなか生き残りをかけて前進して行かなければなりません。そんな中で、のきの郷の若い職員も成長してきていますし、地域の若い世代の人たちが将来について真剣に考え始めています。どうか組合員の皆様には温かく見守っていただきたいと思います。

◎ 常務理事 山本 明

組合員の皆様、明けましておめでとございます。本年もよろしくお願ひいたします。今年に入り早いもので一か月が過ぎました。

また、コロナウィルスが蔓延してから今年で足掛け4年目を迎えるうとしています。昨年は一時感染



者数が収まりつつあるかのように見えたものの、その後には異常なほど感染者数が増え予想外の展開となりました。のきの郷におきましても毎年計画されていましたが恒例のイベント等も仕方なく開催を断念せざるを得ない状況となりました。出来れば今年こそはイベント開催を願うところです。

さて、皆様もご存じのように近年温暖化の影響により気候の変化が著しく農業におきましても苦戦を致すところであります。のきの郷におきましても試行錯誤の上で前向きに進めているところです。

今年は今明け4日から作業開始となり、昨年末より引き続き堆肥の散布と耕起を行っています。また、キャベツとイチゴの収穫出荷も合わせて皆さんに頑張っていただいてるところです。作物はもちろんすべてに関して大変だと思えますが、今年こそは笑顔の多い年になることを願っています。本年も組合員の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。





いちごハウスのなかではいちごが次々に色づいています。観光農園ですが、今年も開園を見送ることにしました。

ヤベツが出荷ストップになっていたため小口の収穫調整作業のみ行いました。
いちごハウス周りは狭いところに雪が固まりハウスを圧迫するのと側面の自動開閉を行うため雪かきは大切です。ハウスのなかではいちごが次々に色づいています。観光農園ですが、今年も開園を見送ることにしました。



田んぼの様子

1月下旬より降った雪のため田んぼは一面真っ白で地面が見えるのは幹線道路くらいです。キャベツはちょうどこの時期加工用キ

隣のぶどうハウスでは剪定が終わり雪解けを待って堆肥散布などの作業に入ります。



お知らせ

いちごを販売しています。品種は章姫と紅ほっぺでそれぞれ300g入り黒トレー品とパック品があります。黒トレー品は箱も準備しております。収穫日に合わせた予約販売となりますのでご注文はのきの郷事務所までお願いします。



電話 22-25580

通常総会のお知らせ

第10期通常総会の開催を予定しておりますが、今年も各町内の代表の方5名の参加にて開催することが理事会で決定しました。

議案につきましては書面議決書にて議決をお願いいたします。

資料配布予定日 2月11日
通常総会開催日 2月19日



新車紹介

ご紹介が遅くなりましたが、昨年9月に導入しました。

キャベツや大豆など主に畑作に利用するために更新導入となりました。23馬力ですがキャンビン付きなので暑い時期の畝立てや畝間の作業などに活躍します。



恵方巻

正月のしめ飾りが降りると恵方巻のCMが始まります。「節分に恵方巻を食べる」という行事は90年代に大手スーパーやコンビニなどの商品展開により全国的に普及したようです。いつの間にか身近なものになった恵方巻、今年の恵方は南南東です。食べ方の作法は諸説あるようですが、太巻きをのどに詰まらせないようにご注意ください。



ちよっこし聞いて

先日は久しぶりの大雪で田んぼの中の道は一面真っ白で道なのか田んぼなのかわからなくなりそうでした。昔話で『雪の吹雪くやな日に飯生と赤崎の縄手を歩いたつもりが田んぼの中を歩いちよった。そうはどつも城山の源太郎きつねにどまかさねたもんだ。昔こっぼし。』雪道はきつねにどまかさねようね。に注意しましょうね。(カ)

